

令和4年度 人権教育 推進計画書

青葉区 横浜市立鴨志田中学校
校長 濱崎 利司
(推進担当者 森岡 知宏)

1 人権尊重の精神基盤とする授業づくり

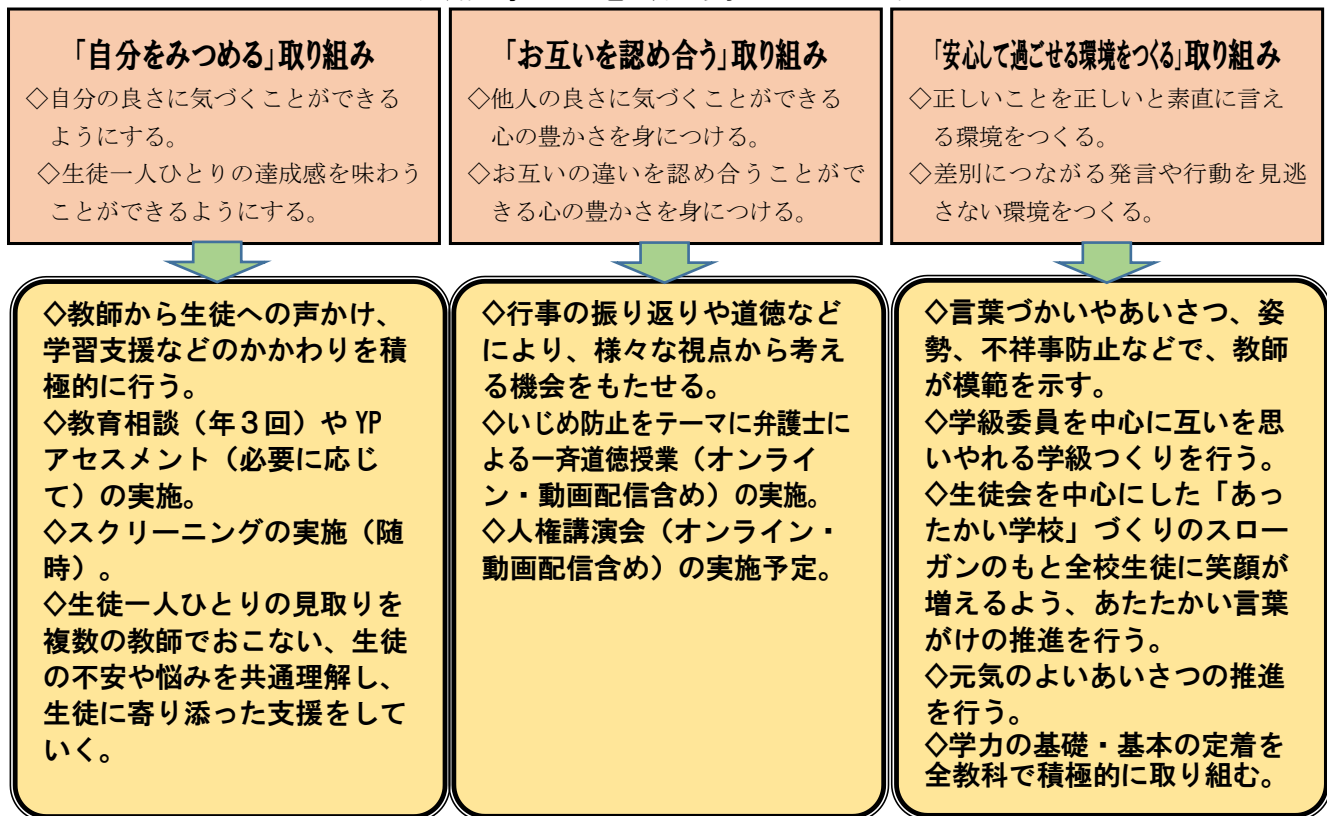
協働的な学びの推進として、道徳・学活を含む全ての教科で、協働的な学習を多く取り入れ、他者との違いや個性を認め、他者の良さに気付くことができるようにする。

2 目の前の子どもの課題解決をめざす取り組み

本校では、自分中心に物事を考えて行動しがちな生徒や、ほんの軽い気持ちで相手を傷つけてしまう言動をしてしまう生徒が見受けられもする。また、そのような態度に対して、自分が我慢することで解決しようとする生徒もいる中、今年の人権教育の課題として次のようなテーマを設定し、具体的に3つの取り組みを柱として、人権尊重の意識を高めていきたい。

「あったかい学校」づくりを目指そう！
～互いに認め合い、素直な気持ちで相手を思いやることのできる生徒の育成～

人権尊重の意識を高める3つの柱



3 子どもの学びを深める人権学習の計画

- ① 一斉道徳の取組 年1回（9月／『いじめ予防』弁護士※学校運営協議会委員 担当）
- ②人権標語をつくる取組（11月）

4 教職員の人権意識を高める校内研修計画

特別な支援が必要な生徒への理解と支援（不登校や不登校傾向にある生徒、学習支援が必要な生徒、生活支援が必要な生徒などについて、学級担任や学年主任、生徒指導専任、個別支援担任、通級指導教室担当、養護教諭、スクールカウンセラーと特別支援委員会（週1回・校内）等を通じて、情報交換をしながら全教職員で支援できるようにする）を実践する。